



発行者 楽しい株式会社

住所 北九州市若松区向洋町10番1
北九州エコタウン実証研究エリア内

ハチドリ通心(信)

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

2012年11月号 E-mail ceres@fun-c.jp http://www.fun-c.jp

4 堆肥化について

(1) 堆肥化装置の構造・機能

大きさは幅1.3メートル、高さ1.6メートル、奥行き1.0メートルで、開閉扉から生ごみを投入する構造となっており、一日に25キログラムまでの生ごみを処理することができます。

微生物を混入させ、温度を約60度に保ちながら攪拌することで、装置内で生ごみが発酵します。

なお、発酵に伴う臭気が直接外部に漏れて周辺的生活環境に支障が生じないように、送風機で内部を吸引し活性炭フィルターで臭気成分を吸着した後、大気に放出します。



紫竹小学校



梅津北小学校



上高野小学校



梶野小学校



竹田小学校

(2) 二次堆肥の生成

学校に設置した堆肥化装置内で生ごみを発酵させることにより、堆肥の一步手前（一次堆肥）の段階になります。装置からこれを取り出し、別の場所で、最終的な堆肥（二次堆肥）に仕上げます。

一次堆肥にノズルを差し込んでコンプレッサーから空気を送ります。ノズルの位置を変えながら、まんべんなく一次堆肥を完熟させます。



京都議定書誕生の「京都市」で学校給食の生ごみ堆肥化モデル事業が始まり、堆肥化装置(1次発酵)は、新しく開発した「無排水高温発酵MBT-100型」を5小学校に設置し、二次発酵は「七彩の風」(京都市静原)にて、簡易堆肥化装置(イージージェット)を使用して行います。

以下に、京都市環境政策局循環型社会推進部循環企画課が、平成24年8月23日に発表された広報資料をご紹介します。

環境教育の視点も考慮に入れた取組に高めるため、生ごみを堆肥に変える装置を子どもたちの身近な校内に置き、出来た堆肥を校内の花壇に利用するなど資源循環の輪を図るモデル事業としてスタートしました。

1 事業の概要

- ・生ごみを堆肥に変える装置(堆肥化装置)を校内に設置します。装置には、その役割が子どもたちに理解できるよう表示を行います。
- ・学校給食から発生する日々の残渣を装置に入れて、発酵させます。
- ・発酵したものを取り出し、専用の施設で堆肥に仕上げます。
- ・最終的に出来上がった堆肥を校内の花壇や近くの畑で用いるなど、子どもたちの目に見える方法で活用します。
- ・こうした取組を通じて、食べ残しなどそもそもごみを出さないことの大切さについて学べるよう普及啓発を行います。



2 対象校

市立小学校から次の5校をモデル校として選定。

- (1) 梶野小学校(北区上賀茂女夫岩町21)
- (2) 紫竹小学校(北区紫竹下園生町26)
- (3) 上高野小学校(左京区上高野松田町8)
- (4) 梅津北小学校(右京区梅津開キ町16)
- (5) 竹田小学校(伏見区竹田桶ノ井町8-2)

3 開始期日

平成24年8月27日(月曜日)から、生ごみ投入。

【第7回B級ご当地グルメの祭典!】

【B-1 グランプリ in 北九州】

- ★来場数 61万人(10月20日・21日)
- ★投票結果
 - 1位 八戸せんべい汁研究所(青森県)
 - 2位 対馬とんちゃん部隊(長崎県)
 - 3位 今治焼豚玉子飯世界普及委員会(愛媛県)

★お箸は、弊社の「安全な竹割り箸」が採用されました。使用後は投票に利用し、一部は福祉施設あざみ園(北九州市八幡西区)で、竹炭へとリサイクルされます。

同時開催の「魅力発信!北九州」フェアでは、発生する生ごみ全量を堆肥にリサイクルしました。